

新しがや

2023年6月25日 No.1422
日本共産党越谷市委員会
越谷市花田1-11-15
電話 962-9595
留守の時 988-7001

三郷排水機場の故障の責任を追及 党市議団 国・県に被害実態つたえ改善要望

台風2号の被害を受け、党市議団は国・県に要望書を提出し、懇談しました。

県には6月9日、党市議団とともに山本悟司副知事に（写真上）、国には6月12日、塩川鉄也衆議院議員、岩渕友参議院議員、梅

村さえ子衆議院比例予定候補とともに内閣府、国交省などに対して（写真下）おこないました。

堤防改修や応急修理など

具体的に要望

党市議団は、市内の中川堤防に未改修部分があること



とを指摘。「市が土のうを積むために40人の手が取られ、市全体の水害対応に影響が出た」と強調。国が一度は予算化しており、未改修は国の責任と追及しました。

また「三郷排水機場が故障したた

め河川に内水を排水できなかった」ことに対し、国は「現在調査中」と、責任を明らかにしませんでした。

さらに、災害救助法が適用されるため、応急修理手当が支給されます。しかし「床上浸水」という罹災証明では、対象外です。二次調査で「半壊」「準半壊」などの判定が必要のため、「本人から申請がなくても二次調査をできるように、柔軟に対応すること」を求めました。

今回の水害では、国・県の対応にも問題がありました。引き続き県議団、国会議員団と連携し、対策をすすめていきます。

6月定例市議会 一般質問

水害の原因ただし被災者支援求める

工藤しゅうじ議員

国・県との懇談をふまえて、水害の原因について福田晃市長の認識を質しました。

「県の河川は十分に機能したか、三郷排水機場のポンプ停止は内水に影響したのではな



いか」との指摘に対し市長は、「影響はあった」と答弁しました。

また「吉川橋付近の中川の堤防未改修部分の土のう積み（写真）作業は、水防体制に影響したか」との質問には、「40人で4時間かかったため、他の対応に影響が出た」と答えました。これに対して、「懇談したが国・県は責任を感じていない。市長として積極的に国・県に実情をつたえて、改善を求めていくべき」と強調しました。市長は、「国・県としっかり連携して水

害対策を強化する」と答弁しました。

公共交通への財政支援を求める

山田大助議員

公共交通の充実は、住民が安心して出歩くことができるようにする「交通権」の保障のためにも、政治が果たすべき重要な役割の一つです。

市長に対し、「『しないわけではない』ばかりではなく、具体的な支援策を検討するためにも、公共交通への『財政支援をする』と明言すべき」と迫りました。

市長からは、「具体的な方法が決まらないうちは『する』と明言はできない」としなが

ら、「様々な検討の中には財政支援も含まれる。何らかの形でお金を出すことになるという考えはある」と、従来よりも踏み込んだ答弁がありました。

また意見交換会の取りまとめについて「来年度中」という答弁があり、とりまとめ後の具体的な対策の実行も含めて「可能な限り早く」と求めました。



3学園構想 議論の不十分さを指摘

大和田さとし議員

められています。

「小中一貫校・3学園構想」の計画初期段階でどのように公に審議されたのか、教育長に質しました。「教育委員会で作成し、2019年4月に市長と相談し、政策決定した」との答弁で、公の審議会や市民参加による議論などはおこなわれていないことが、あらためて明らかになりました。その後の学区審議会で委員からは、「デメリットについても丁寧な説明が必要」などの意見が出されていますが反映されることもなく、現在も建物ありきで計画がすす



シリーズ 悪実の人を冤罪から救おう②

自白偏重の証拠調べを許さずに

袴田事件は、日本の刑事司法と再審請求裁判の問題点を明るみに出しました。第一審で出された自白調書は、袴田さんへの拷問によるものです◆「1日平均12時間、長い日は16時間50分もの取り調べ……疲労と睡眠不足、水も与えず、トイレにも行かせない。時には暴力をふるって精神的・肉体的拷問が繰り返された。『殺しても病気で死んだと報告すればそれまでだ』と言っておどし、罵声を浴びせてこん棒でなぐった」。 (弁護団ホームページ)「事件の概要」抜粋) ◆死刑の確定判決は、45通の自白調書のうち「検察官調書一通を除き、いずれも任意性を欠く」でした。今回の東京高裁決定は、当時任意性を認めた自白調書に対して「証拠価値は乏しい」としました◆冤罪多発の大きな問題は、犯罪捜査から裁判の判決にいたるまで、警察・検察などによる①客観的な証拠隠し、②証拠のでっちあげ、③自白偏重、を容認してきたこと。冤罪をうまないため、自白偏重を許さず、「疑わしきは被告人の利益に」「有罪が確定するまでは、被告人は無罪が推定される」とする原則を貫くことでしょう。(続く)

(国民救援会越谷支部 支部長 松沢勇)

topics

憲法改悪を止めよう

6月9日、蒲生駅で、「憲法を守りくらしにいかす越谷共同センター」が、憲法改悪を止めようと訴えました。



埼玉土建が住宅デー開催

6月11日、埼玉土建越谷支部が市内11カ所で住宅デーを開催し、多くの参加者でにぎわいました。



越谷母親大会開催

6月17日、第59回越谷母親大会が開催されました。講演では、「私たちの食の未来」と題し、「農業が命も環境も守る」ことなどが話されました。



原発推進法にNOの審判を

6月16日、さようなら原発 in 越谷三金行動が越谷駅でおこなわれ、党市議団も参加。「原発推進法にNOの声をあげ廃止に追い込もう」と訴えました。



お知らせ

◆原水協6・9宣伝

日時 7月6日(木)

午後5時30分～

場所 大袋駅

◆社会保障推進協議会

自治体キャラバン

日時 7月7日(金)

午後2時～

場所 中央市民会館4階

◆平和行進

日時 7月9日(日)

午前8時30分

場所 越谷駅東口

パブリックコメント募集

越谷サンシティ

整備基本計画の

一部見直しについて

7月11日(火)まで

・各地区センター等の意

見回收箱に投函、電子

申請、電子メール、郵

送、FAXなど